

夏期セミナー 8月に千葉で開催

- ・ 学生が主体，今年で3年目
- ・ 発見と刺激と笑いに満ちた3日間に

●学生・研修医部会とは

今から2年前，家庭医療学研究会の夏期セミナーに参加して「家庭医」のシャワーを浴びた3日間。3日間で終わってしまうなんてもったいない！と、「家庭医」に興味を持つ，みんなの輪を続けて行きたいと中村明澄さん（現在国立病院東京医療センター総合内科レジデント）が発起人となり，学生・研修医部会がスタートしました。初めはこぢんまりとした集まりでしたが，最近では150名以上がメーリングリストに加入するなど，その輪は確実に大きくなってきています。代表もすでに3世代目となりました。

現在の主な活動は，メーリングリストを通しての活動・意見交換や，夏期セミナーの企画・運営です。メーリングリストでは，「家庭医」にまつわる様々な話題が展開されており，4月からは研修を終えた先生方の登録も可能となります。活発で有意義な意見交換に拍車がかかりますよう期待が膨らみます。また，自主勉強会情報の交換を通して，各地でさまざまな自主勉強会が活発に行われるようになる傾向があるようです。

これからも，世話人である筑波大学臨床医学系の前野哲博先生をはじめとした，研究会の諸先生方にご支援いただきながら，学生・

研修医部会が活発な活動を展開してゆけると良いな，と考えています。日本に「家庭医」が増える事を祈って……

（文責：副代表 寺澤富久恵 筑波大学5年）

●今年も夏期セミナーの成功を祈って

2001年セミナーでは全国から実に様々な学生が集まってきた。家庭医や総合診療医を目指す学生はもちろんのこと，国際医療協力で携わりたい学生，心療内科医になって悩める女性を救いたいという学生，災害が起こったら世界中どこでも飛んで行きたいという学生，脳外科医になって専門を追求したいという学生。共通しているのは，「病気だけを見て，病氣とたたかうのではなく人間そのものを。その患者さんの幸福に配慮できる医師になりたい」ということであつたと思う。学生だけでなく指導にあたる先生方も実に多彩であつた。先生達とは主に懇親会の席などで話をさせていただいたが，家庭医療・総合診療の第一線で培った豊富な知識と経験をもっておられるだけでなく，人間として個性的な方ばかりで非常に刺激的だつた。僕自身は，昨年のセミナーで，新たな知識を吸収できたのはもちろんのこと，多くの先生や学生との交流を通じ，後の活動の糧となる様々な情報とエネルギー

を得ることが出来たと思う。2002年はスタッフとしてセミナーに参加する予定である。今年のセミナーが多くの参加者にとって、発見と刺激と笑いに満ちた3日間となるよう微力ながらがんばりたい。

(文責：代表 渡辺慶介 信州大学3年)

●今年のセミナーについて

今年度は、緑あふれるスポーツリゾートで行います。またリピーターのために昨年度からステップアップしたセッション内容なども、企画しております。

日時：2002年8月9日（金）～11日（日）

会場：日本エアロビクスセンター

千葉県長生郡長柄町上野521-4

(東京駅より外房線快速で50分 菅田駅より無料送迎バス)

参加費：

当研究会会員/ 学生 19,000円 / 医師 21,000円

非会員/ 学生 22,000円 / 医師 28,000円

○家庭医の現在と未来～現在，家庭医として活躍されている先生方の講演

○研修病院&プログラムポスターセッション～家庭医を養成している病院の研修を紹介

○家庭医に必要な臨床能力《選択制》～家庭医に必要な臨床能力についての講義・実習

a. 身体診察法（頭頸部+バイタル）

b. 身体診察法（腹部+神経）

c. 小外科実習

d. 医療面接

e. 症例へのアプローチ

f. EBM（初級編）（中級編）

g. ACLS（救急手技）

h. 医療倫理

i. 在宅ケア

○モーニングセッション 《選択制》～語ろう，家庭医について

① 家庭医になるために 〈パネルディスカッション〉

② 世界で活躍する家庭医

③ 家庭医の家庭

○家庭医療学研究会 学生・研修医部会～活動紹介，メーリングリストの紹介

セッションの内容や料金など一部変更が生じることがあります。随時新しい情報を，学生・研修医部会のホームページ<http://family-s.umin.ac.jp/>に載せていきますので，ご参照ください。

(文責：夏期セミナー担当

加藤はるか 信州大学5年)

●学生・研修医部会へのアクセス

ホームページは上記。

電子メールアドレスは

family-med@umin.ac.jpです。